

冬季休業は、多くの行事の中で家族の一員として自分の役割を果たしたり、新たな気持ちで学習や部活動に取り組んだりするなど、子どもにとって大変有意義な時間になります。その一方で、休業後に登校できるのかを不安に思ったり、休業中に生活のリズムを崩したりするなどして心や体に不調を来し、冬季休業明けに学校や教室に行きづらくなったりする子どももいるのではないのでしょうか。

そこで、チェックシートを活用してみましょう！

不安を抱えながらも何とか登校できている子ども（下欄：子どもの状態評価 状態0～状態2）や、学校には登校できていないが、教育支援センター（学校適応指導教室）、フリースクールなど学校以外の施設には定期的に参加できている子ども（状態3）に焦点を当て、

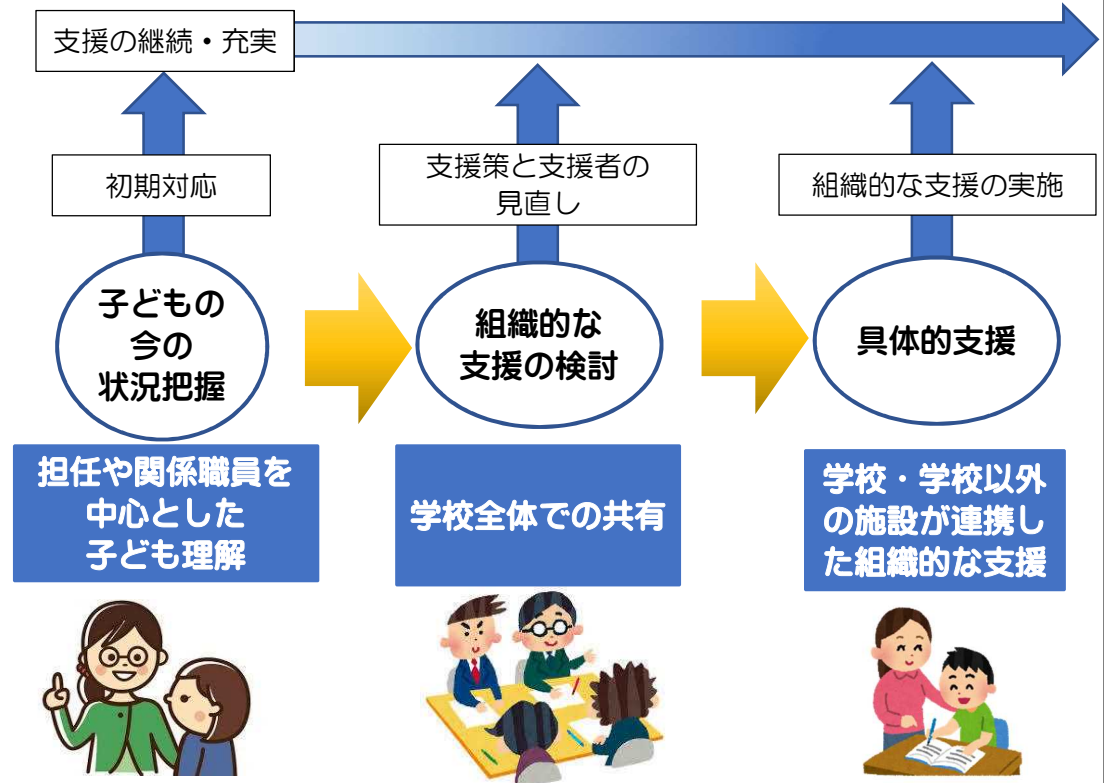
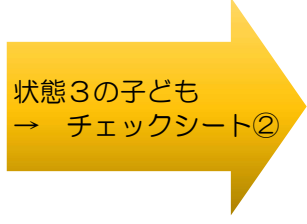
- ① 学級担任や学校関係職員が、子どもの今の状況を把握して、休業前（日々の取組）、休業中、休業後において、その子に合わせた支援を行うこと
- ② 気になる子どもに対して、学校職員がチームで支援策を検討し、学校以外の施設とも連携しながら、組織的に支援できるようにすること

を目的として作成しました。ぜひ御活用ください。なお、休業前に取り組む内容については、通常の教育活動においても取り組むべき内容です。

冬季休業前、休業中、休業後における、学校が子どもとその保護者にできる支援

子どもの状態評価

		登校状況
登校できている	状態0	平常に登校しているが、ときどき気になる行動が見られる
	状態1	遅刻・欠席がしばしばある 又は、保健室登校が多い
	状態2	半分以上の欠席がある 又は、保健室・相談室登校をしている
登校できていない	状態3	学校以外の施設への定期的な参加ができている
	状態4	家庭内では安定しているが、外出は難しい
	状態5	家族ともほとんど顔を合わせず、部屋に閉じこもっている



※ 状態0～5は、『小児心身医学会ガイドライン集』改定第2版』を参考にしています